

↓ 苗箱に均等に種をまく子どもたち



まちの話題をお知らせします。

米づくりの達人を目指して

みはま Yum Yum Project が始動

町内の小学生を対象とした農業体験プログラム「みはま Yum Yum Project」が、4月21日に始まりました。

このプロジェクトは、子どもたちに農業の楽しさを感じてもらうことを目的に、町農林水産課や地元の農業者、ボランティアスタッフ等が協働で実施していきます。田植えや草取り、稲刈り、はさがけ等の体験を全8回シリーズで提供し、その内の何回かには、特別ゲストとして川藤幸三さんも参加する予定です。

1回目の体験は、新庄で入隊式と稲の種まきを行い、参加した子どもたちは米づくり名人への第1歩を踏み出しました。



↑ヨイショつと
(種をまいた苗箱をビニールハウスへ搬入)

↓ 万歳三唱で貫通を祝う山口町長ら



舞鶴若狭自動車道の

矢筈山トンネルが貫通

舞鶴若狭自動車道の小浜 IC～敦賀 JCT(仮称)間にある矢筈山トンネルが貫通し、4月25日に美浜側のトンネル入口で貫通式が行われました。

同トンネルは美浜町興道寺と若狭町気山をつなぐもので、工事は平成22年3月から開始。延長は2,418mとなっており、小浜 IC～敦賀 JCT間にある14本のトンネルの中で2番目の長さです。

貫通式には山口町長も出席し、貫通点通り初めの儀式では、若狭町長らと万歳三唱を行い、トンネルの無事貫通を祝いました。なお、小浜 IC～敦賀 JCT間は平成26年度に開通予定です。

↓ 凛とした表情で見得を切る子供歌舞伎



子ども役者の晴れ舞台

早瀬山王祭礼

5月5日に、早瀬区で山王祭礼が行われ、町の無形民俗文化財に指定されている「子供歌舞伎」が奉納されました。

当日は午前9時頃に曳山が区内の巡行を開始。日吉神社前に着くと、境内では子ども会による水無月太鼓が奉納されました。

その後、曳山の舞台上に化粧と色鮮やかな衣装に身を包んだ子ども役者が登場し、「寿式三番叟」を上演しました。三味線の音に合わせて舞い、力強く見得を切ると、観客からは拍手が起こり、舞台へおひねりが投げ込まれました。

↓「上げ、下げ」の声とともに男たちがもみ合う幣押し



↓県の無形民俗文化財に指定されている王の舞



幣押し、王の舞、獅子舞

弥美神社例大祭

5月1日に、弥美神社（宮代）で地区の安泰と五穀豊穡を祈願する例大祭が行われました。

祭りでは、正午前から「幣押し」が始まり、宮代、中寺、小三ヶの男衆が、大御幣をめぐり激しいもみ合いを繰り広げました。

夕刻、大御幣が本殿に納められると、赤い装束に鼻高の面と鳳凰の冠を身に着けた舞い手が現れ、笛や太鼓に合わせて優雅に舞う「王の舞」が奉納されました。

また、祭りの最後には獅子舞が登場。警護役を振り払い境内を大暴れし、訪れた観客の笑いを誘っていました。

↓警護役を振り払う獅子舞



↑ウォーターバルーンは楽しい♪

わんぱくたちが連休を満喫

若狭路わんぱくフェア

5月3日から5日にかけて、総合運動公園で若狭路わんぱくフェアが開催されました。

特設ステージでは、ヒーローショーやマジックショー、クイズ大会等が行われ、多くの親子連れで賑わっていました。

また、会場内と隣接する久々子湖畔では、「ニジマスのつかみ取り」や「花の鉢植え」、「ウォーターバルーン」、「カヌー」等を体験できるコーナーが設けられており、子どもたちは自然と触れ合う楽しい一時を過ごしていました。

6月24日の鮎釣り解禁に向けて

稚鮎の放流

5月9日に、耳川で弥美小学校4年生児童による稚鮎の放流が行われました。

この放流は、耳川川漁業協同組合が毎年開催しているもので、今年は約200kg(5万匹相当)の稚鮎が放流されました。

参加した23人の児童たちは、「かわいい」等と歓声を上げながら、バケツに入った体長約8cmの稚鮎を次々と放流しました。

なお、放流された稚鮎は40日程で成魚となり、中には25cm程に成長するものもいるそうです。



↑稚鮎を放流する児童たち(左上が稚鮎)